



標識



説明板



説明板



説明板



説明板



説明板

### ■史跡指定地ゾーン

ア 説明板の新設や既存看板の改修、案内看板の設置

- ・ 番屋など説明板がないものは説明板を新設し、理解の増進を図る。
- ・ 既存看板の改修、案内看板の設置
- ・ 並木敷跡に表示看板の設置や、善太夫鳴堤（せぎ跡）の使用法の図示など見学者が理解しやすい看板表示を行う。
- ・ 点字や多言語表記などに優しい説明看板の設置を行う。

イ 遺跡の説明システム導入の検討

- ・ 人感センサーによる音声ガイド、スマホを活用した観光アプリなど遺跡の説明システムの導入を検討する。

### ■保護対象範囲ゾーン

ア 説明板の新設や既存看板の改修、案内看板の設置

- ・ 島田市博物館分館の川越しに関する役割や位置付け、来訪者へのアプローチの仕方について再検討し、バリアフリーの分かりやすいサイン整備を行っていく。

### ■史跡周辺ゾーン

ア 説明板の新設や既存看板の改修

- ・ 石碑・<sup>ほこら</sup>祠など説明板がないものは、所有者や地域住民の理解と協力を得ながら、説明板の新設を検討するとともに、既存看板については、今後とも現在地において適切な維持・管理を行い、劣化・き損等が生じた場合には適切な補修を行う。

イ 大井川河川敷に連台のレプリカ展示などの整備を検討

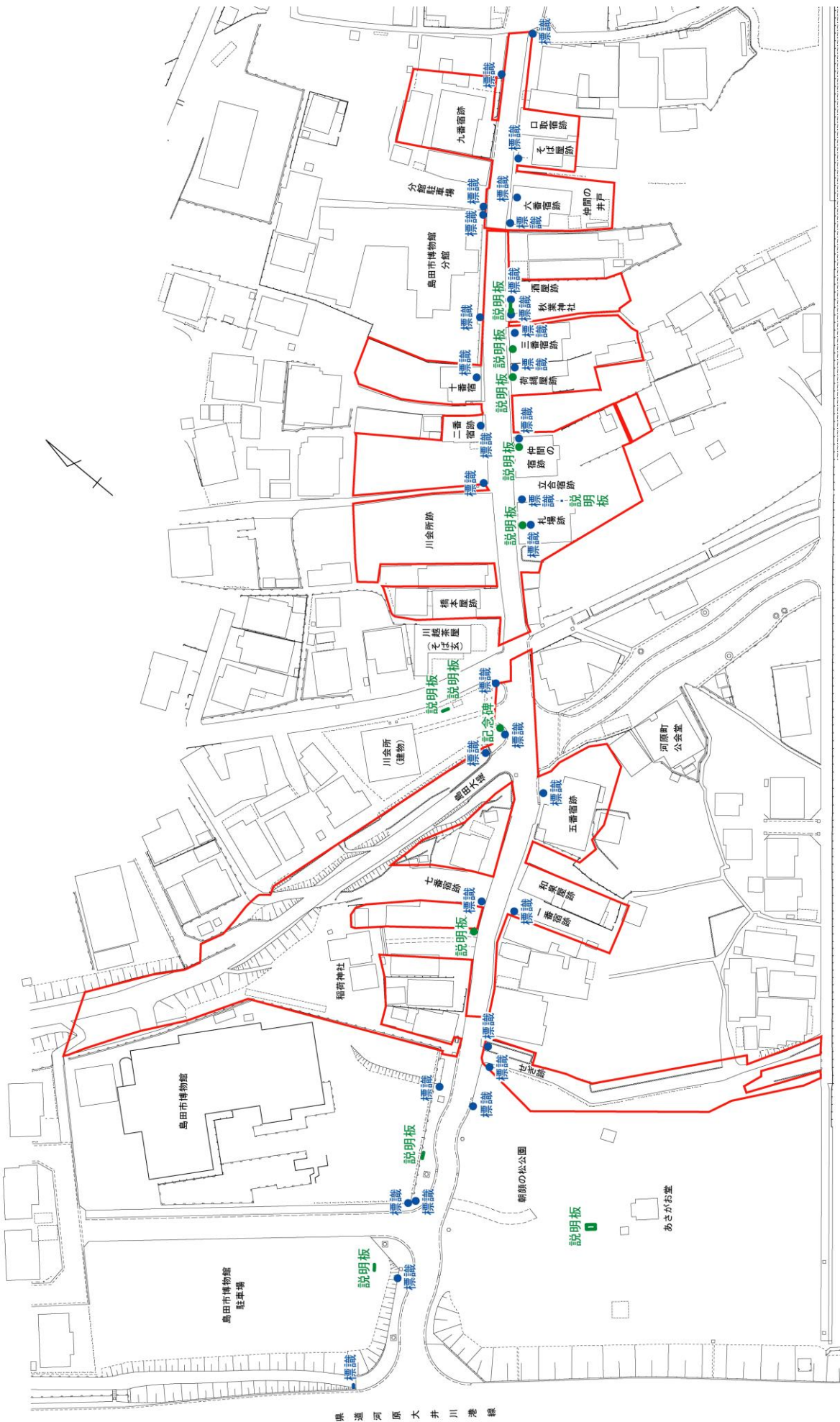
（かわまちづくり事業との連携模索）

ウ 案内標示板等の設置

- ・ 公共交通機関の拠点および主要交差点から川越遺跡までを誘導する案内標示板等の設置を検討する。

エ 新東海製紙の壁に、大名行列などの絵をペインティング検討

- ・ 街道の東に交差点から約 300m、新東海製紙株式会社の壁が続く。新東海製紙株式会社や地元の協力を得ながら、その壁に大名行列などの絵をペインティングすることを検討する。



県 道 河 原 大 井 川 港 線

図35 既存サイン位置図



### 第11節 地域全体における関連文化財等との有機的な整備活用に関する計画

川越遺跡を拠点に、これらを活用するため連携すべき資源を結ぶネットワークを形成し、相乗効果を高める。

なお、「島田宿大井川川越遺跡整備基本構想」では、次のような2つのネットワーク整備について記載している。

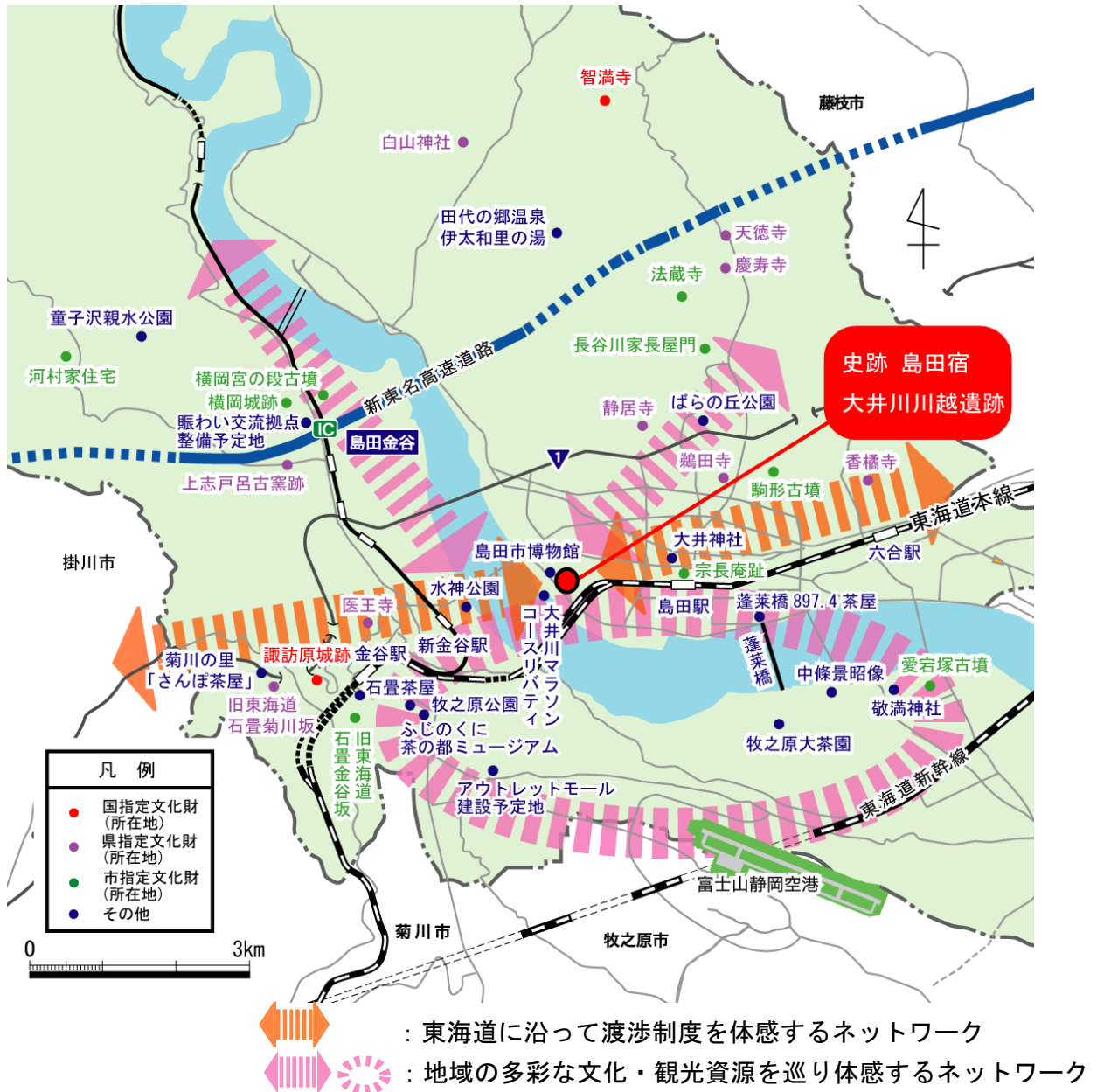


図36 ネットワーク図

## 1 東海道に沿って渡渉制度を体感するネットワーク：

島田宿本陣跡～川越遺跡、島田市博物館本館～（大井川）～金谷宿本陣跡等をたどる。

### (1) 主要な資源

- 国指定文化財：諏訪原城跡
- 県指定文化財：旧東海道石畳（菊川坂）、医王寺（薬師堂）
- 市指定文化財：宗長庵趾、旧東海道と石畳（金谷坂）
- その他：大井神社、水神公園、石畳茶屋、菊川の里「さんぼ茶屋」など

### (2) 整備充実の方針

島田宿と金谷宿を結ぶルートの充実を図り、川越遺跡と一体として連携を目指す。また、藤枝市や掛川市など周辺地域の東海道関連の文化財ネットワークについても連携を図っていく。

諏訪原城跡と川越遺跡は東海道でつながって、途中の市指定史跡東海道石畳（金谷坂）からは世界遺産富士山の美しい眺望が広がる。これらの東海道沿いの観光資源とのネットワーク化により付加価値を高めていく。

さらに案内サイン表示（説明板・標識）、歩道や自転車道、レンタサイクルシステムの整備、SNS 映えするスポットづくりの支援などを行うことにより、多くの来訪者の利用を促し、川越遺跡を拠点として、東海道沿いをネットワーク化し、交通の便や案内サインの充実を図る。

#### 具体案の例

- ・案内サイン表示（説明板・標識）、歩道や自転車道、レンタサイクルシステムの整備、SNS 映えするスポットづくりの支援
- ・島田市内の歴史文化資源など説明システム導入の検討（スマホを活用した観光アプリなど）

### (3) コースの例

JR 島田駅からのウォーキングコース（東海道の名残を辿る旧跡探訪）

- ・距離：約 7.0km、所要時間：半日

①JR 島田駅→(約 0.6km)→②島田宿本陣跡→(約 0.5km)→③大井神社→(約 0.5km)→④大善寺→(約 1.5km)→⑤川越遺跡→(約 0.1km)→⑥島田市博物館→⑦大井川橋経由(約 2.0km)→⑧水神公園→(約 1.3km)→⑨金谷宿本陣跡→(約 0.5km)→⑩JR 金谷駅



図 37 東海道に沿って渡渉制度を体感するネットワークコース図

## 2 地域の多彩な文化・観光資源を巡り体感するネットワーク：

蓬莱橋～川越遺跡、島田市博物館本館～ばらの丘公園～ふじのくに茶の都ミュージアム～大井川鉄道等を巡る。

### (1) 主要な資源

- 国指定文化財：諏訪原城跡、智満寺（本堂・十本スギ）
- 県指定文化財：上志戸呂古窯跡、天徳寺（山門）、静居寺（惣門）
- 市指定文化財：長谷川家長屋門、愛宕塚古墳
- その他：蓬莱橋、島田市ばらの丘公園、ふじのくに茶の都ミュージアム、牧之原大茶園、中條景昭像、敬満神社、牧之原公園、田代の郷温泉伊太和里の湯、大井川鐵道など

### (2) 整備充実の方針

川越遺跡周辺には、国指定文化財の諏訪原城跡などの文化資源や世界一長い木の橋として知られる蓬莱橋やS Lで有名な大井川鐵道、ふじのくに茶の都ミュージアム、温泉など、数多くの観光資源がある。

JR 東海道線や東名高速道路及び新東名高速道路 IC、富士山静岡空港といった交通インフラの要衝で、新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺地区は、内陸フロンティア推進区域もあり、旧金谷中学校跡地ではアウトレット建設が予定されている。

川越遺跡は、これら多彩な文化・観光資源の中心に位置することから、観光の軸として、教育の拠点として、歴史文化・観光資源をたどる。

とりわけ、蓬莱橋は、川越遺跡に車で約 5 分と近く、年間 10 万人以上の来訪者があり、大井川で繋がっており、蓬莱橋の来訪者を川越遺跡に呼び込む具体的な方法を検討していく。

#### 具体案の例

- ・蓬莱橋と島田市博物館の共通入場券(セット券)  
事例：韮山反射炉・江川邸の共通入場券、玉露の里と岡部宿大旅籠柏屋の共通券、新居関所と紀伊国屋資料館共通券
- ・レンタサイクルシステムの整備  
蓬莱橋から川越遺跡の間は大井川の河川敷にあるマラソンコースの利用も考えられる。なお、島田駅北口駐輪場にて 1 日 500 円でレンタサイクルを行っている。
- ・観光バスとばらの丘公園やふじのくに茶の都ミュージアム、島田市博物館も合わせた共通のチケットなどについても検討
- ・川越遺跡（島田市博物館）と蓬莱橋やばらの丘公園など市内観光地をめぐる周遊バスの運行なども検討
- ・案内サイン表示（説明板・標識）、歩道や自転車道の整備、SNS 映えするスポットづくりの支援
- ・島田市内の歴史文化資源など説明システム導入の検討（スマホを活用した観光アプリなど）

### (3) コースの例

新東名高速島田金谷 IC からの文化・観光地巡り（A コース）

- ・距離：約 32km、所要時間：1 日

①新東名高速島田金谷 IC→(約 9km)→②蓬莱橋→(約 3km)→③川越遺跡(復元家屋の座敷で昼食)と④島田市博物館→(約 5km)→⑤島田市ばらの丘公園→(約 5km)→⑥田代の郷温泉伊太和里の湯→(約 10km)→⑦新東名高速島田金谷 IC

新東名高速島田金谷 IC からの文化・観光地巡り (B コース)

・距離：約 27km、所要時間：1 日

①新東名高速島田金谷 IC→(約 9km)→②蓬莱橋→(約 3km)→③川越遺跡 (復元家屋の座敷で昼食)と④島田市博物館→(約 3km)→⑤大井川鉄道乗車→(約 4km)→⑥ふじのくに茶の都ミュージアム→(約 1km)→⑦アウトレットモール建設予定地→(約 7km)→⑧新東名高速島田金谷 IC

富士山静岡空港からの文化・観光地巡り (A コース)

・距離：約 36km、所要時間：1 日

①富士山静岡空港→(約 11km)→②蓬莱橋→(約 3km)→③川越遺跡と④島田市博物館→(約 5km)→⑤島田市ばらの丘公園→(約 10km)→⑥ふじのくに茶の都ミュージアム→(約 1km)→⑦アウトレットモール建設予定地→(約 6km)→⑧富士山静岡空港

富士山静岡空港からの文化・観光地巡り (B コース)

・距離：約 28km、所要時間：1 日

①富士山静岡空港→(約 11km)→②蓬莱橋→(約 3km)→③川越遺跡と④島田市博物館→(約 3km)→⑤大井川鉄道乗車→(約 4km)→⑥ふじのくに茶の都ミュージアム→(約 1km)→⑦アウトレットモール建設予定地→(約 6km)→⑧富士山静岡空港



図 38 地域の多彩な文化・観光資源を巡り体感するネットワークコース図

## 第12節 整備事業に必要となる調査等に関する計画

### 1 文献・資料調査

川越しに関する記述が見られる日記や紀行文、古文書等の文献資料及び、川越し場の様子を描いた絵巻や浮世絵のほか関連する写真も含めた絵画資料の再調査・研究を行う。

また、金谷側に残っている資料群(古文書・古写真・古絵図等)の中で川越しに係る資料の調査研究を行う。

調査研究の実施にあたっては、これまでと同様に島田市島田宿大井川川越遺跡整備委員会による指導の下に計画的に進める。

### 2 発掘調査

#### (1) 発掘調査の実績

川越遺跡内における発掘調査は、平成5年(1993)から平成30年(2018)までの間に、史跡整備・個人住宅建設などともなっており、合計13回行われた。

表20 発掘調査の実績

調査年度	NO	遺跡名	調査期間	調査面積	主な時代・遺構・遺物
平成5年度	①	島田宿大井川川越遺跡 酒屋跡近接地	平成5年11月17・18日	7m <sup>2</sup>	トレンチ調査(1箇所) 水田跡 水場跡(石組遺構)
平成5・6年度	②	島田宿大井川川越遺跡: 川越街道(十番~九番宿)	平成6年3月15日~ 4月5日	32m <sup>2</sup>	トレンチ調査(5箇所)
平成6年度	③	島田宿大井川川越遺跡: 川越街道(二番宿~せぎ跡)	平成7年1月31日~ 2月16日	30m <sup>2</sup>	トレンチ調査(10箇所)
平成7年度	④	島田宿大井川川越遺跡: 川越街道(瀬木跡)	平成7年4月21日~ 25日	4m <sup>2</sup>	トレンチ調査(1箇所) 工事中 にせぎ跡の遺跡を確認
平成10年度	⑤	島田宿大井川川越遺跡 仲間の宿・立合宿	平成10年1月20日~ 3月28日	200m <sup>2</sup>	江戸後期 立合宿の礎石、水路、 土杭跡、水田跡
平成10年度	⑥	島田宿大井川川越遺跡 九番宿跡	平成10年3月17日~ 3月20日	253m <sup>2</sup>	江戸・明治~昭和 蔵跡
平成16年度	⑦	島田宿大井川川越遺跡: 一番宿跡	平成16年6月29日~ 7月9日	22m <sup>2</sup>	近世 近世陶器・貨幣 トレンチ調査(4箇所)
平成19年度	⑧	島田宿大井川川越遺跡: 指定地外	平成19年1月30日	4m <sup>2</sup>	江戸:近世陶器(志戸呂・碗) トレンチ調査(1箇所)
平成19年度	⑨	島田宿大井川川越遺跡: 五番宿跡近接地	平成19年3月14日	12m <sup>2</sup>	江戸:近世陶器(志戸呂・灯明皿他) トレンチ調査(3箇所)
平成22年度	⑩	島田宿大井川川越遺跡: 泉屋跡	平成22年5月27日~ 6月19日	27m <sup>2</sup> (140m <sup>2</sup> )	江戸:肥前焼(碗・皿)・志戸呂 (盤すり鉢) トレンチ調査(4箇所)
平成28年度	⑪	二番宿西・川会所跡試掘調査	平成28年11月15日~ 平成29年1月31日	210m <sup>2</sup>	川会所跡から石列遺構を確認
平成29年度	⑫	川会所跡・七番宿跡発掘調査	平成29年8月21日~ 12月31日	189m <sup>2</sup>	川会所跡から石敷遺構を確認
平成30年度	⑬	川会所跡			

#### (2) 発掘調査の計画

川越遺跡の確認・解明、さらに川越遺跡に対する理解を増進するため、地下の遺構・遺物の情報収集を目的として発掘調査を実施する。

調査の検討・実施にあたっては、島田市島田宿大井川川越遺跡整備委員会で協議し、文化庁の許可を得て進めていくものとし、現地説明会等を通じて積極的な情報発信を行う。